

勝利への一本

スマッシュ スパイク

新入部員企画

試合の流れを変え、時には勝負を決定付ける「スマッシュ」「スパイク」。この特集では、体育会の中でも一打、に対して思い入れが強い卓球、テニス、バドミントン、バレーボールの4部に焦点を置き、どのようにその一打、を磨いているかを、専大スポーツ編集部の新入部員が聞いた。

卓球部

卓球は英語でテーブル tennisと呼ばれるように、小さなスペースで熱い戦いを繰り広げる競技である。卓球でのスマッシュは「勝負を決める一打」。ラケットをボールにたたきつけ、速いボールを打つことで返しづらく、得点につながる武器となる。しかし、狙う場面は相手や試合の状況で変わってくる。格上の相手には積極的にスマッシュで勝負をかける。また得点を挙げたい時にも強

攻



石澤恭祐主将(経営4)は「自分がボールを打った時点で、どこにボールが戻ってくるか予測し、先回りすることでスマッシュのタイミングを計る」と話している。また、「スマッシュが決まった時はうれしいうる。また、「スマッシュは優勝を狙っていきたくて」と闘志を燃やす。今後は「一打」に注目して観戦していただきたい。(岡野希春・経済1 撮影) 鮫沢

バドミントン部

バドミントンは全ての球技の中でスマッシュの初速が最も速いことで有名である。最速で時速400km以上に達し、ギネスブックにも認定されている。試合中にせっかくなのチャンスボールが来ても有効に生かせる技を持っていないと得点につながりにくい。この競技ではかにスマッシュが重要であるかがうかがえる。

速



山田真央主将(文4・埼玉栄高)は「落下点で正確に打つため、早く球の下に入る事が重要」と話す。練習ではシャトルケースに狙いを定めて打つなどコントロールを磨く一方、ノックを上げて打つといったように、数を多くこなしていた。日々の練習で培ったその一打が試合で決まった時、他のプレーでは感じられないほどの喜びとうれしさが選手に訪れる。「守るよりは攻める。将。そして一つひとつ丁寧に練習をこなし、普段の学生生活とは違った一面を見せてくれた選手たち。関東大学秋季リーグ戦でさらなる活躍を見せてくれるだろう。(矢野友佳子・文1 撮影) 生山

テニス部

テニスにおいて主にダブルスの「スマッシュ」は、相手にプレッシャーを与え、ミスを引き出し、優位に立つ手段である。スマッシュを打つコツは「直前まで足を止めず、タイミングを合わせて思いっきり打つこと」と小川実香主将(商4・秀明英光高)は語る。だからこそ、日頃の練習の中にスマッシュを取り入れており、個人では強いボールが打てるようにウエイトトレーニングでの筋力

強



アップが欠かせない。また、試合では相手を左右に走らせたり、深いボールを打つことで苦しませる工夫をしている。この結果、試合で理想のスマッシュを決めることができて、さらには勝利を手に入れる自信につながる。逆に相手にスマッシュを決められたときは、相手の良いプレーを素直に受け止め、次のプレーに

バレーボール部

バレーボールのスパイクは、他の3競技とは大きく異なる。ラケットではなく腕自体を使うことで、力強いボールを相手コートにたたき込む。その一本はチームの勝利を決めるものとなる。スパイクの練習は選手の間で、取り組み方が異なる。その上で長友慶磨主将(商4・都城工高)は、「助走」「スイング」「ミート」の3点を意識するといふスパイクが打つことができる

魅



教えてくれた。特に「ミート」の重要性を説き、うまく打つポイントは「力よりもまずは当てることを意識する」と、身ぶりを交えて説明した。「やっぱり勝っている時よりも、競っている時にスパイクが決まったほうが、流れを引き寄せることができるし、テンションも上がる」と語る。試合の流れを変えるスパイクは選手たちだけで

卓球・関東学生選手権

北川・劉ペアが3位

シングルスでも入賞



▲ 過去最高の順位を残した北川主将

7月11日から14日までの、埼玉県の和光市総合体育館で関東学生卓球選手権が行われた。女子ダブルスを通過した北川主将・劉ペアは4回戦を危なげなく突破する表現した。(湯澤時生・人間科学2部商高) 写真も

女子シングルスでも北川主将が躍進した。準々決勝で青学大の王と対戦し、一度は窮地に追い込まれる。しかしその後の2ゲームを連取し、同点とする。最終セットを11-7で奪い、ベスト4へ進出した。準決勝で敗れたものの、自身過去最高の順位に、「最後の関東学生選手権なので思いきりよく挑んだ。4年間で一番良い結果を残せてうれしい」と喜びを表現した。

国際大会

出場選手

- ◇サッカー部
 - 小口 大貴(経済1・生田東高) アルクディア国際ユーストーナメント(8月12〜21日) スペイン ※DF。U19日本代表
- ◇水泳部(水球)
 - 河村 宗志(商1・金沢市立工高) 世界ジュニア選手権(8月12〜18日) ハンガリー・ソントバトヘイ ※GK。男子日本代表
- ◇漕艇部
 - 村上 弘記(法2・高瀬高) カヌースプリントジュニア・U23世界選手権(7月25日〜8月6日) カナダ・ウエランド ※カヤック
- ◇バレーボール部
 - 藤中 謙也(経営2・宇部商高)
- 高橋 拓也(経済2・東亜学園高) 世界ジュニア男子選手権(U21、8月4日〜9月3日) トルコ・アンカラ、イズミル
- ※全日本ジュニア男子代表
- ◇ラグビー部
 - 古屋 篤史(経済1・日川高) JWRTアジア予選大会(8月7〜18日) 台湾 ※U19日本代表
- ◇レスリング部
 - 中村 倫也(商1・花咲徳栄高) 世界ジュニア選手権(8月13〜18日) アルガルシア・ソフィア

アメフト部

創部50周年

記念式典開く

「アメリカンフットボール部創部50周年記念式典」が7月20日、都内のハイアットリージェンシーで開催された。卒業生や関係者、現役部員ら約300人が出席し、写真。式典では50周年を機に一新したアメリカンフットボール部の新ロゴとユニホームが披露された。また創部初期のOBによる「思い出トークショー」もあり、旧交を温めるひと時となった。



OB2人が部長で出場

夏の甲子園 8月8日に開幕した第95回全国高等学校野球選手権記念大会に野球部OBの中矢太さん(平9経営)と準硬式野球部OBの山下智将さん(平16商)の2人が出場する。中矢さんが部長を務める済美高校(愛媛県代表)は7日目の第2試合で三重高校(三重県代表)と、山下さんが部長を務める星稜高校(石川県代表)は3日目の第1試合で鳴門高校(徳島県代表)と対戦する。